



沖縄県恩納村

議会だより

NO.132

平成29年5月19日発行

うんな



第5回 シリーズ各字紹介「谷茶区」

「谷茶前ぬ浜の歌碑建立」

去った3月26日、谷茶区民が待ち望んでいた「谷茶前節」歌碑の除幕式が行われました。

谷茶前節の由来は、首里王府の奉行巡視の際に恩納番所より、その歓迎と慰労を兼ねた催しを命じられたものです。

谷茶区には豊年村芝居がなく、若者達は何を披露したら良いか考えつかなかった。

そこで「口頃、海で漁をしている様子」と、アングワター(若い娘たち)が、魚を売り歩く言葉を歌にし、それに節をつけて踊る以外にない。物笑いにされようが、お叱りを受けようが踊ってみよう。」と、披露したものであった。

型破りな出し物は奉行をはじめ、多くの見物人を驚かせ、喜ばせたという。その時の歌が「谷茶前節」である。

除幕式では、区内に伝わる昔ながらの「谷茶前節」を、青年会より披露されました。

「今後も、歌と踊りを風化させることなく、後世へ継承して参ります。」との谷茶区長のコメントでした。

海や砂浜が一望できる素晴らしい景観に立つ歌碑の見学に、ぜひ一度は足を運んではいかがでしょうか。

協力 石川 要 区長
担当 富山 達彦

もくじ

- 平成29年度恩納村の家計簿 P 2
- 予算特別委員会審議内容抜粋 P 4
- 安富祖ダム工事現場における米軍によるものと思われる流弾事件発生 P 16
- 議会の案内 P 17
- 職員紹介
- 編集後記
- 議会のうごき P 18